

## バランスのとれた行い

イレイン・ヤング・マグワイヤー  
ジョージア州 リルバーン  
(翻訳: 村越 克子)

7月28日（火）

## 神を知る

聖書朗読 イザヤ書 11：1～9

その永遠のいのちとは、彼らが唯一のまことの神であるあなたと、あなたを遣わされたイエス・キリストを知ることです。 ヨハネ 17：3

聖書は事実をありのままに記した書物であり、登場人物の欠点も隠さずに書かれています。ですから、私たちは真の人間性を聖書の中に見ることができます。それは、私たち自身の中にも存在する善人と悪人、強い人と弱い人、人間的な部分と神聖な部分です。

しかしまた一方で、聖書は理想を記したものでもあり、私たちにできたであろうこと、あるいはいつの日にかできることがキラキラと輝いていて、私たちを喚起しています。

イエス・キリストの時代は、神様がご自身を人間に現された最後のときです。『わたしを見た者は、父を見たのです。』（ヨハネ14：9）とイエス様は言われました。ダビデの父、エッサイの根株から出た若枝が、私たちの主、イエス・キリストです。イエス様は、私たちに御父を現すために、またこの世を裁き、御国が来ることを告げるために、この世に来られました。この世が主を知ることによって満たされるなら、なんて素晴らしい世の中になることでしょう（イザヤ11：9）。でも、主にある私たちでさえ、理想には遥かに及びません。

私たちが主を知ることにおいて成長し、主のご栄光に変えられ、知識を広げられるようになったとき、私たちは現実から理想へ、混乱から平安へ、地上から天国へと続く列に加えられるのです。

聖歌 594

祈り 御在天のお父様。イエス様を通して御自身を現してくださり、ありがとうございます。イザヤの幻を通して私たちを喚起してくださり、ありがとうございます。幻を掴み、それを現実のものとすることができますように助けてください。

イエス様の御名において。アーメン。

ビリー・シルベイ

カリフォルニア州 カルバーシティ

（翻訳：村越 克子）

7月29日（水）

## 私たちは家族です

聖書朗読 ヨハネ 19:25～27

イエスは、母と、そばに立っている愛する弟子とを見て、母に「女の方。そこに、あなたの息子がいます。」と言われた。それからその弟子に「そこに、あなたの母がいます。」と言われた。 ヨハネ 19:26～27

その場面は恐ろしいと同時に驚くべきものでした。イエス様はその粗末な着物まで剥ぎ取られ、恐ろしい十字架の上、天と地の間に宙ずりの状態で張りつけられていました。この時、イエス様には、イエス様のとこしえの目的と一つの未完の御業以外には何も残されていませんでした。

イエス様は全ての人を平等に愛していましたが、その中にイエス様が特別な関係を築いていた二人の者がいました。その二人の者は、イエス様の十字架の影のうちにたたずんでいました。マリヤは「主の従者」であり、ヨハネは「イエスが愛した弟子」でした。二人はこの世でイエス様と最も親しい者たちでした。

イエス様はその親友の手にご自分の母の世話を託しました。その死の真際、イエス様は新しい家族を作られたのです。『その時から、この弟子は彼女を自分の家に引き取った。』（ヨハネ 19:27）

その最後のみ言葉で、イエス様は神が常々行なわれていた。——人々に家族を与えるという御業を続けられました。

私たちも、イエス様によって家族を与えられています。神がその家族の長であり、その家族は神にとって神聖なものです。私たちがこの家族をそれにふさわしい特別なものとして常に扱うことができますように。

讃美歌 434

祈り お父様。私たちに家族を与えてくださること、特にあなたの神聖な家族に感謝します。私たちがこの家族を常に愛し、守り、また奉仕できるように助けてください。

イエス様の御名を通して。アーメン。

ビル・ヘネガー

カリフォルニア州 ウェストレイクヴィレッジ

（翻訳：斎藤 雅子）

7月30日(木)

## ふ さ わ し く 行 う

聖書朗読 マタイ 9:14～17

こういうわけで、なすべき正しいことを知っていながら行なわないなら、それはその人の罪です。 ヤコブ 4:17

ひとりの女が、たいへん高価な香油でイエス様をきよめたとき、何人かの者は、その行為はお金をむだにするものと憤慨し、その女を責めました。しかし、イエス様は彼らに言いました。『そのままにしておきなさい。なぜこの人を困らせるのですか。・・・この女は、自分にできることをしたのです。』(マルコ 14:6,8) 彼女は自分の信じることに誠実でした。

確かに、私たちはいつも目に見たように、ふさわしいことをふさわしく行なえるわけではありません。かつて、洗礼者ヨハネの弟子たちは、信念によって「断食」しました。イエス様の弟子たちは、するべきだとの信念によって、「祝宴の食卓」へとかけました。このことは論議のひとつとなっています。宴会へ行くことは、ヨハネの弟子たちにとっては愚かなことのようにでした。しかしイエス様の弟子たちにとってはごく自然なことのようにでした。

イエス様は、「理解力」と「人の選択」を混ぜることは不可能なことであるとわかっていました。イエス様は、このことを、新しいぶどう酒を古い皮袋にいれようとするようなものだといっておられます。それをすると、両方とも駄目になってしまいます。

イエス様は、お互いの行動の妥当(正当)性を悟りなさいと、弟子たちに教えています。洗礼者ヨハネの弟子たちが行なった断食も、イエス様の弟子たちが行なった宴会も誤りではありません。イエス様に香油を塗った女のように、彼らは「彼らができることをやった」のです。

聖歌 317

祈り 親愛なるお父様。私たちはときどき、他人の行動を判定したり、他人が私たちの好みにそった行動をすることを要求してしまいがちです。私たちが香油をふんだんに使った女や、神様のために祝宴をひらくことを決めた男のなかにある美しさを見られるように、助けてください。画一化するのではなく、和合することができますように。

イエス様の御名において。アーメン。

ブルース・W・ロギー  
カリフォルニア州 ロディ  
(翻訳: 斉藤 雅子)

7月31日(金)

## 従った時にいただく力

聖書朗読 マルコ 1:9～15

わたしは、自分からは何事も行なうことができません。ただ聞くとうりにさばくのです。そして、わたしのさばきは正しいのです。わたし自身の望むことを求めず、わたしを遣わした方のみこころを求めるからです。 ヨハネ 5:30

マルコの福音書の最初に、イエス様が従兄のヨハネからバプテスマをお受けになったと書かれています。他の福音書では「今はそうさせてもらいたい。このようにして、すべての正しいことを実行するのはわたしたちにふさわしいのです。」とイエス様は言うておられます(マタイ 3:15)。イエス様は神様のみこころを完成し、神様は御子が服従なさることをはっきりとここで認められたのです。そして、御霊がくだり、天からの声が聞こえました。

それから、イエス様は、悪魔の試みを受けるため、御霊に導かれて荒野に上って行かれました。マルコはこの試みについて詳しく述べていませんが、サタン企みと、イエス様が神様に仕え続けるために悪魔の試みを退けられたことを、私たちは知っています。イエス様は御自分の考えからではなく、神様のみことばをもって、悪魔の試みに応えられたのです(マタイ 4:1～11)。

今、義のために求められていることは成就され、イエス様は神様に仕えることによってそれを明らかになさったのです。、ですから、イエス様は神の国について語られ(神様の支配のもとにある場所)、私たちに悔い改めを求められているのです。

私たちは神の国について伝え、悔い改めを呼びかけます。それは、自分の思いを成し遂げるためにではなく、神様の求めに従うためなのです。

聖歌 608

祈り 天のお父様。あなたに従ったときに人々を導くことができることを、覚えておくように導いてください。

イエス様の御名により。アーメン。

スティーブン・レムリー  
(翻訳: グラ 弘美)

8月1日(土)

## 信 じ る こ と の 幸 い

聖書朗読 ルカ 1:26～45

主によって語られたことは必ず実現すると信じきった人は、何と幸いなことでしょう。 ルカ 1:45

神様はお約束をなさいます。そして、そのお約束には目的があります。お約束は、神様がお与えくださる私たちへの愛と祝福の表現です。『あなたのいのちを穴から贖い、あなたに、恵みとあわれみとの冠をかぶらせ、あなたの一生を良いもので満たされる。あなたの若さは、わしのように、新しくなる。』(詩篇 103: 4～5)。神様はこのようなお方なのです。

ルカの福音書では、ザカリヤ、エリザベツ、マリヤは、神様から子どもが生まれてくるとお約束された、と記されています。神様は新しい命をお約束なさったのです。私たちに敵対するものは私たちに物事の限界を示します。しかし、年老いたヨハネの両親、男の人を知らなかったマリヤにとって、そのような限界は、神様のお約束が果たされることを信じる障害とはなりません。神様はお約束を守るお力を持っておられます。そして、なにか新しいものをあなたの人生にもたらしにくさるのです。たとえ、あなたがどんな恐れを持っていたとしても、「神様に不可能なことはないのです」。

神様はお約束を守られるお方です。神様のお約束からくる恵みは必ず成就されます。神様のお約束の成就に預かることは、私たちがいつも私たちに誠実であられるお方に信頼を置いていることを示しているのです。

讃美歌 第二編 191

祈 り 主よ。あなたは今までとは違った新しい人生を何度も何度も私たちにお与えくださいます。まだ成就されていないお約束への信頼の恵みを感謝します。

イエス様を通して。アーメン。

スティーブ・スチュワート  
ニューメキシコ グランツ  
(翻訳:山形 静代)

8月2日(日)

## 神 の 道 を 生 き る

聖書朗読 詩篇 19:7～11

律法はモーセによって与えられ、恵みとまことはイエス・キリストによって実現したからである。 ヨハネ 1:17

全世界の創造主が、イスラエルの民として知られる脱出奴隷達の集まりと契約を交されるためにシナイ山を降りてこられた時、神はこの世で珍しいことをされました。神は、それまで、聖なる生き方についての約束事を定められ、それをイスラエルの民に伝えたことはありませんでした。続く千年間は、イスラエルの民の暮らしは律法によって形作られました。イスラエルの民は、この恵みを受ける選ばれた国民であるということを誇りに思い、そして、律法をただ畏れと敬虔さではなく、深い、個人的な慈しみを持って受けとめました。今日の聖書朗読の箇所、神のみことばによって生きることができる恵みとよろこびの詩は、このような個人的愛の一例を示します。

しかしながら、律法が尊いものである一方で、それは神がイスラエル及び世界に与えようとされていた最後のみことばではありませんでした。神は、キリストをこの世に送り出すべき国家としてのイスラエルを形成するために、モーセを通した啓示を利用されたのです。モーセが石の上に刻んだ神のみことばは、この世に生きたことば、イエス様が現れるための道だったのです。このことば、イエス様のいのちは、神の真実を私たちに示し、イエス様の死は神の御恵みの扉を開いたのです。

讃美歌 525

祈 り 愛するお父様。全てのものが御子を指し示します。全世界がすぐにでも、御子の傷ついた足元にひれ伏しますように。  
イエス様の御名を通して。アーメン。

ジム・バード  
オクラホマ州 エドモンド  
(翻訳:斎藤 雅子)